

別紙様式 1

令和 6 年度阿賀中学校区研究推進計画

校番 (8) (阿賀小) 学校

校長名 安宗 誠

- 1 学校教育目標
自ら伸びる ともに伸びる
- 2 目指す児童生徒像
主体的に学び、ともに伸びようとする児童生徒
- 3 育成を目指す資質・能力 (具体の姿)

資質・能力 設定した	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	自らへの自信	思いやり・感謝・貢献
後期	各教科等に関する個別の知識や技能を、それぞれの学年で確実に身に付けている。	複数の事柄や資料などを関連付け、多面的・多角的に考察して、根拠をもって表現することができる。	目標に向かって、仲間と認め合いながら主体的にねばり強く、自分を向上させようとしている。	感謝の心を持ち、思いやりのある行動や責任感のある態度で、地域・社会に貢献している。
中期		複数の事柄や資料などを関連付け、思考・判断したことを整理したり再構成したりして、目的に応じて分かりやすく表現することができる。	目標に向かって、仲間と認め合いながら、自分を向上させようとしている。	感謝の心を持ち、思いやりのある行動で、仲間や家族に貢献している。
前期		身の周りの複数の事柄や資料について、気付いたことを基に比べたり例えたりして、順序よく表現することができる。	自分のよさや可能性を生かして、意欲と自信をもって取り組んでいる。	相手のことを思いやり、進んで親切にしている。

- 4 研究主題等
 - (1) 研究主題
主体的に学び、ともに伸びようとする児童生徒の育成
～授業や生活における居場所づくりを通して～

(2) 設定理由 (校区の児童生徒の課題分析等)

本中学校区では、長年、自己指導能力を育成するために必要な三つの機能 (いわゆる「生徒指導の三機能」) を生かした授業づくり及び生活づくりに取り組んできた。一昨年度からは、「小中で創る『未来の学び』実践事業」の指定を受けながら、授業、生活の両面における児童生徒一人一人の「居場所」づくりに視点を当てて研究に取り組んできた。授業においては、①「分かった」「できた」を実感させることを「居場所」と捉えることとし、具体的には、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実により、より深い自己選択・自己決定ができる、さらには、学びの発展へとつなげることを目指した授業づくりを行って

きた。一方、生活においては、①安心して過ごせる、②自分なりに伸びる目的をもって過ごせる場・時間・空間を「居場所」と捉えることとし、これらを①登校していない実態、②登校しているが教室に行けない実態、③教室にいるが教室が居場所とは感じていない実態、の改善につなげる生活づくりを行ってきた。以上の取組みの結果、全国学力・学習状況調査の児童生徒正答率が+4pt以上、QU検査での学級生活満足群児童生徒が60%以上等、顕著な成果が認められた。その一方で、児童生徒自らが問いを生み出す指導の工夫や、ICTの効果的な活用、登校していない児童生徒やQU検査での要支援群児童生徒へ向けた「居場所」を生み出す手立てなど、今後も継続して取り組む課題も明らかになっている。このような実態を踏まえ、本年度も、先に述べたこれまでの研究の方向性に基づき、授業及び生活における確かな「居場所」づくりに取り組んでいきたい。

(3) 研究仮説

児童生徒一人一人の実態に応じた授業及び生活における「居場所」づくりを行えば、自分らしさを発揮して他者と主体的に関わり合って伸び合おうとする児童生徒の育成につながるであろう。

5 研究内容

(1) 授業における居場所づくりによる資質・能力の向上

① 「分かった」「できた」を実感させるための取組の重点

- ア 導入で児童生徒の「なぜ?なぜ?」を引き出す。
- イ 必要感のある「対話」、効果的な「ICT活用」の場を設定する。
- ウ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実により、イをより深い自己選択・自己決定につなげる。→主体的・対話的で深い学びを実現する。
- エ 「発展的振り返り」により、授業と家庭学習を線でつなぐ。

(2) 生活における居場所づくりによる資質・能力の向上

①登校していない実態に応じた居場所づくり（本音で話せる・興味関心に沿うために）

- ア タブレット端末等でつながり続ける。
- イ タブレット端末による授業視聴を試みる。
- ウ SSR・「かがやきルーム」で過ごしてみる。

②登校しているが、教室に行けない実態に応じた居場所づくり（よき理解者の存在・「やってみよう」を引き出す）→SSR・「かがやきルーム」の充実

- ア 利用する子どもと一緒に環境づくり
- イ 利用する子どもと一緒にイベントを企画運営
- ウ 利用する子どものボランティア活動を企画運営
- エ タブレット端末等で所属学級とつながる

③教室にいるが、教室が居場所とは感じていない実態に応じた居場所づくり

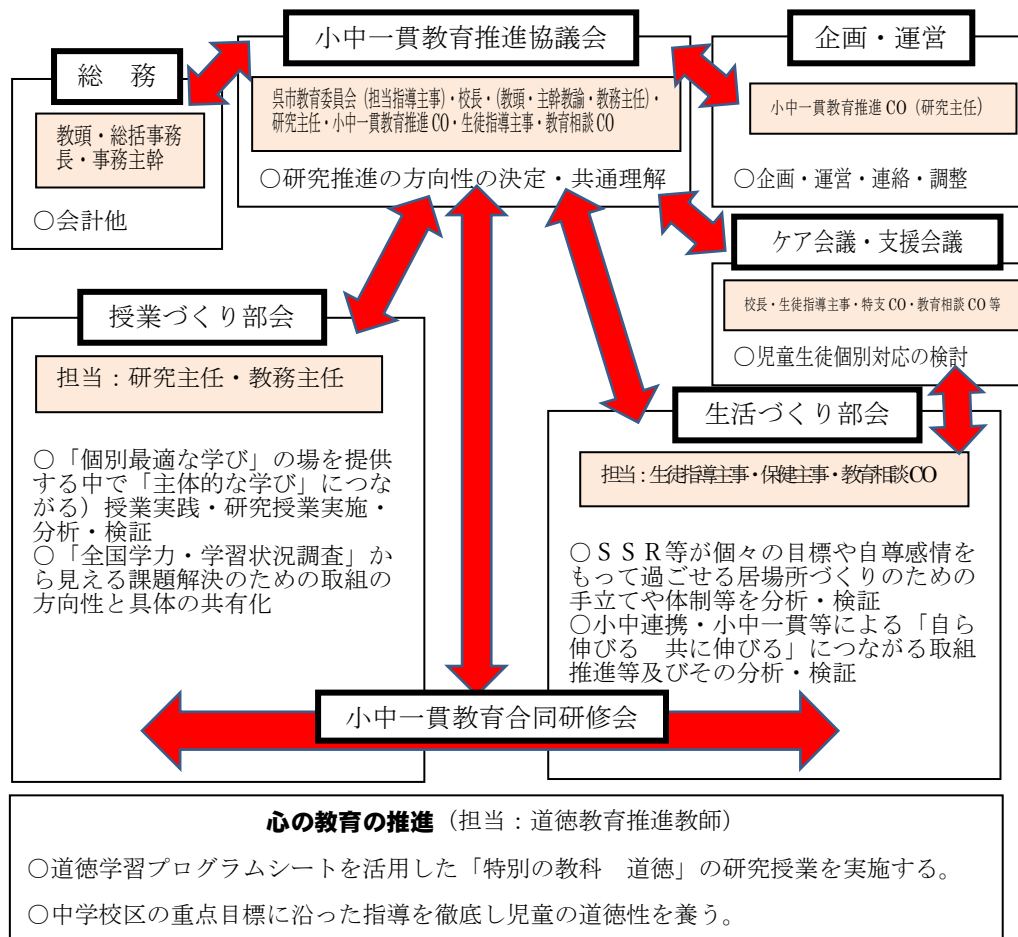
- 子ども同士が絆を感じる場面を教師が黒子に徹しながら仕掛ける

6 検証について

検証の視点	方法	検証の指標	現状値	達成目標
①「分かった」「できた」を実感させるための取組が、効果的であったか。	標準学力調査	全国平均との差	小学校 + 3.02 中学校 + 3.3	全国平均 + 3.0
	記述分析	「分かった」「できた」と実感している振り返りの記述		
②児童生徒の実態に応じた取組により、生活における「居場所」をつくることができたか。	QU検査	要支援群児童生徒の変化	小学校 3.0% 中学校 3.3%	10%未満
		学級生活満足群児童生徒の変化	小学校 66.0% 中学校 64.3%	50%以上

7 推進体制等

(1) 推進組織



(2) 一部教科担任制実施計画

ア 乗り入れ授業等（中→小、小→中）

（中→小）

- ① 図画工作（6年）〔2学期・3時間〕
- ② 音楽（6年）〔2学期・4時間〕
- ③ 夏期休業学力補充（6年）〔2日間〕

（小→中）

- ④ 夏期休業学力補充（1年）〔2日間〕

イ 小学校教科担任制等

- 2年・・・音楽
- 3年・・・書写、理科、社会、音楽、体育
- 4年・・・書写、理科、社会、音楽、図工、外国語
- 5年・・・書写、理科、社会、音楽、図工、家庭科
- 6年・・・書写、理科、社会、音楽、図工、家庭科、外国語

8 推進計画

月 日	会合名	場 所	内 容
4月24日(水)	児童生徒アンケート	授業及び生活における「居場所」に関する意識調査	
5月 1日(水)	小中一貫教育総会	阿賀中学校	研究の方向性の確認 指導案作成のポイント
	理論研修	阿賀中学校	広島工業大学 情報学部教授 竹野英敏氏
5月25日(土)	小中合同活動① 阿賀小運動会	阿賀小学校	吹奏楽部による開会式での演奏 阿賀中ソーラン隊による応援演舞
6月 4日(火)	小中合同活動②	阿賀小学校	小中合同あいさつ運動（中学生が小学校へ）
6月 4日(火)	公開授業①	阿賀中学校	特別の教科 道徳 第1学年 公開授業
	理論研修	阿賀中学校	広島工業大学 情報学部教授 竹野英敏氏
終了後	運営委員会	阿賀中学校	公開授業、小中合同活動の反省
6月17日(月)	授業参観	阿賀小学校	中学校の教員が小学校の授業を参観
終了後	運営委員会	阿賀小学校	授業参観、小中合同活動の反省
7月 1日(月)	児童生徒アンケート	授業及び生活における「居場所」に関する意識調査	
7月16日(火)	小中一貫だより	内容－めざすもの・公開授業・小中合同活動について	

7月23日(火) 24日(水)	乗入れ(中→小)	阿賀小学校	小6年・夏季休業補充学習での指導
7月29日(月) 7月30日(火)	乗入れ(小→中)	阿賀中学校	中1年・夏季休業補充学習での指導
8月9日(金)	小中合同研修会	阿賀中学校	居場所づくりについて各校の実践を交流
9月12日(木)	小中合同活動③	阿賀中学校	小中合同あいさつ運動(地域へ)
9月13日(金)	公開授業②	阿賀小学校	〇〇科 第〇学年 公開授業
	理論研修	阿賀小学校	広島工業大学 情報学部教授 竹野英敏氏
	終了後 運営委員会	阿賀小学校	公開授業、小中合同活動の反省
10月9日(水)	小中合同活動④	阿賀小学校	小中合同あいさつ運動(地域へ)
10月11日(金)	小中合同活動⑤	阿賀町内	クリーンアップ阿賀(アガデミア) *アガデミア一斉避難訓練の日と重なる
10月15日(火)	児童生徒アンケート	授業及び生活における「居場所」に関する意識調査	
10月21日(月)	小中合同活動⑥	呉高専G 阿賀小G	陸上競技講習会
11月5日(火)	合唱鑑賞会	阿賀小学校	中学校の合唱コンクール(文化発表会)で学校代表に選ばれた学級の合唱を小学生が鑑賞する。
11月6日(水)	乗入れ(中→小)	阿賀小学校	【小学校6年生】音楽乗入れ授業
11月25日(月)	乗入れ(中→小)	阿賀小学校	【小学校6年生】図画工作乗入れ授業
11月25日(月) ～12月6日(月)	小中合同活動⑦	阿賀小学校	ソーラン講習会 中学生による小学生へのソーラン指導
12月14日(土)		阿賀公民館	アガデミア文化発表会
12月9日(月)	児童生徒アンケート	授業及び生活における「居場所」に関する意識調査	
12月16日(月)	小中一貫だより	内容ー公開授業・アガデミア・小中合同活動・乗入れ	
1月24日(金)	オープンスクール 阿賀中入学説明会	阿賀中学校	体験授業と部活動参観 新1年生に向けての説明会
1月29日(水)	小中合同活動⑧	阿賀小学校	小中合同あいさつ運動(地域へ)

1月30日(木)	公開授業③	阿賀中学校	保健体育科 第2学年 公開授業
終了後	運営委員会	阿賀小学校	公開授業、小中合同活動、オープンスクール、入学説明会の反省
2月21日(金)	合同研修会	阿賀中学校	1年間の取組の振り返り
	理論研修	阿賀中学校	広島工業大学 情報学部教授 竹野英敏氏
終了後	運営委員会	阿賀中学校	小中合同活動の反省 成果と課題の整理
3月10日(月)	小中一貫だより	内容ーオープンスクール・阿賀中入学説明会・公開授業	
3月26日(水)	運営委員会	阿賀小学校	次年度の方向性の確認

※担当職員同士は運営会を受け、随時、連携を図る。

9 その他

・小中合同行事等

- ① 小中合同あいさつ運動 ② 阿賀小運動会への応援参加（吹奏楽部・ソーラン隊）
- ③ クリーンアップ阿賀（アガデミア） ④ 陸上講習会
- ⑤ 合唱鑑賞会 ⑥ ソーラン講習会 ⑦ アガデミアふれあい文化発表会
- ⑧ 部活体験活動

・小中一貫だより『阿賀っ子』

学期に1回（年間3回）幹事校が発行する。（本年度は呉市立阿賀中学校）